

JABEE-日工教共催「国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ 第10回」 “もう待てない教育改革と工学教育の質向上”

1. 開催の趣旨：

本ワークショップシリーズではこれまでに、PDCA サイクルを用いた教育の質保証システムの構築について、国際的同等性を担保することをその目的としている JABEE の認定基準に準拠した手法を解説し、ワークショップで実際にその構築の演習をしてきました。

今回は、JABEE が特に重視している修了生のアウトカムズ（学習成果）に関し、欧州で普及し始めており日本でも取り組みが始まっている「ディプロマ・サプリメント（学位証書補足資料）」についての解説と、アウトカムズの適切な評価方法とその示し方に関するワークショップを行います。

教育の質保証や入口出口の接続の枠組みに関しては、外部からの強制によって形だけ整備しても何の役にも立ちません。また少子化時代を迎え、教育改革による質の向上は待ったなしの状況となっております。本ワークショップで、大学教育に求められていることの本質を理解していただき、皆様の大学での教育改革が、大学の社会的価値向上に有効な活動となることを願っております。

【参考】

- (1) 中央教育審議会大学分科会大学教育部会：「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）及び「入学受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）の策定及び運用に関するガイドライン、平成28年度3月31日
- (2) 中央教育審議会：「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について～すべての若者が夢や目標を芽吹かせ、未来に花開かせるために～」、平成26年12月22日
- (3) 「ディプロマ・サプリメント（学位証書補足資料）」とは：2010年までに「欧州の国境を越えた共通の高等教育圏」の建設を趣旨とするボローニャ宣言（1999年に欧州29ヶ国の教育大臣が署名）において、具体的な提案として盛り込まれた3つの目標のひとつであり、修了生の学習成果を学位記の追加文書として示す制度である。学習成果として評価する知識、能力、技能を定めて統一的な評価基準が定められ、各国での普及が進んでいる。他の2つは、学修課程の統一とECTS（欧州単位互換制度）の更なる活用である。

2. 開催日時：2017年12月16日（土）10：00～17：00

3. 会場：芝浦工業大学 豊洲キャンパス 交流棟4階 402 教室

アクセス：<http://www.shibaura-it.ac.jp/access/toyosu.html>

キャンパス内案内図：

http://www.shibaura-it.ac.jp/educational_foundation/facility/toyosu_campus.html

4. プログラム：別紙1

5. 主催：公益社団法人日本工学教育協会（日工教）、一般社団法人日本技術者教育認定機構（JABEE）

6. 後援：文部科学省、経済産業省（予定）

7. 募集人員：70名（先着順受付）

8. 申込方法：参加申込書に必要事項をご記入の上、下記連絡先宛てメール添付またはFAXでお送りください。

9. 申込期限：2017年12月8日（金）（期限厳守）

10. 参加費：2万円（教材資料・昼食込み）

ただし、下記のいずれかに該当する方は1万5千円

- ・JABEE 認定継続中のプログラムからの出席者
- ・JABEE 正会員である学協会^(注)の個人正会員

(注) <http://www.jabee.org/outline/member/> の社員名簿にある学協会

- ・日工教の個人正会員または日工教認定の教育士（工学・技術）資格保有者

11. 支払方法：事前振込み（振込み明細書を支払い証書としてご使用ください）

又は 当日現金支払い（領収書渡し）

【振込先】 三井住友銀行三田通支店 普通預金口座

口座番号：6862866

口座名義：公益社団法人日本工学教育協会

※できるだけ事前振り込みをご利用願います。

12. 継続教育ポイント対象講座：教育士（工学・技術）の方には出席1ポイント/h+参加5ポイント（全日出席の場合、合計12ポイント）が付与されます

13. 連絡先：日工教事務局（担当 築野俊雄 tsukuno@jsee.or.jp Tel: 03-5442-1021 Fax: 03-5442-0241）

JABEE-日工教共催「国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ 第10回」
“もう待てない教育改革と工学教育の質向上”

【プログラム（予定）】

9:30 受付開始 指定座席に着席

10:00 主催者挨拶

卒業時の学修成果の客観的提示法（ディプロマ・サプリメント）の解説

10:05 「入口から出口までの一貫性を持った教育枠組み（仮題）」

河本 達毅（文部科学省 高等教育局 大学振興課
大学改革推進室 改革支援第二係長）

11:05 「欧州の国境を越えた教育交流枠組みで始まったディプロマ・サプリメントの日本における役割」

深堀 聡子（国立教育政策研究所 高等教育研究部 部長）

12:05 昼食

12:40 「教育の質保証枠組みにおける、3つのポリシー・JABEE 認定基準・学修成果の客観的表示法（ディプロマ・サプリメント）の関係」

工藤 一彦（東京電機大学）

12:55 「学修成果を確認する仕組み（日本初のディプロマ・サプリメント）の開発」

— 修了生の具体的な教育達成状況のレーダーチャートや文章等による表現—

越水 重臣（産業技術大学院大学 創造技術専攻 教授）

13:30 「学生の自己理解と成長を促すプレ・ディプロマサプリメントと、卒業時に身に付けた力を客観的に提示するディプロマ・サプリメントの開発」

湯本 雅恵（東京都市大学 副学長）

JABEE 認定が想定している基本的枠組み構築の演習

14:05 「JABEE 認定が重視するアウトカムズ評価（学習・教育達成度評価）」

三木 哲也（電気通信大学）

14:30 グループワークの課題と進め方

市坪 誠（長岡技術科学大学）

14:40 グループワーク「学習・教育到達目標の設定、カリキュラムマップ作成および学習・教育達成度評価」

適宜 コーヒーブレイク

16:00 発表、質疑（4グループ程度）

16:40 総括・講評、質疑応答

17:00 終了

- 注： ※ 開始、終了時間以外の途中の時間は多少前後する可能性があります。
※ 都合により時間が一部変更になることがありますので予めご了承ください。
※ グループワークで使用するため、パソコンを持参して頂ければ幸いです。